

男女共同参画についての意識調査のお願い

日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この調査は、男女共同参画に関して、市民の皆様のお考えやご意見、実情を幅広くお伺いするもので、調査結果は今後の市の施策を検討する上での基礎資料にしたいと考えております。

このたび、満20歳以上の市民の皆様から無作為に2,000人を抽出したところ、あなた様に調査をお願いすることになりました。この調査は無記名でご回答いただくものであり、統計処理以外には使用しませんので、個人が特定されたり、個別の回答が公表されたりすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年7月 春日井市

ご記入にあたってのお願い

- 1 この調査票は、原則としてあて名のご本人がご記入ください。
- 2 各設問に対しては、それぞれの指示にしたがって、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。なお、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的な内容をご記入ください。
- 3 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や説明にしたがって最後までお進みください。
- 4 回答方法は、①インターネットの専用フォームにご入力②当調査票にご記入（郵送）の2種類があります。回答期限は①②ともに2025年7月22日（火）です。

▶① インターネットの専用フォームに入力の場合

- ・URLまたは二次元コードからインターネットページにアクセスしてください。
- ・回答を途中で中断して一時保存し、続きから再開することも可能です。



URL : <https://f8732e22.form.kintoneapp.com/public/diverisity-investigation-1>

▶② 当調査票にご記入（郵送）の場合

- ・ご記入いただいた当調査票を同封の返信用封筒に入れ、回答期限までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です。）。

《お問い合わせ先》

春日井市 市民生活部多様性社会推進課（月曜日休館）

〒486-0844 春日井市鳥居松町2丁目 247 番地 レディヤンかすがい

TEL : 0568-85-4401 FAX : 0568-85-7890

Eメール : tayosei@city.kasugai.lg.jp

1 男女の平等意識について

問1 今の社会において、次の各分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
(①～⑧についてそれぞれ○を1つ)

	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかとい えば男性の 方が優遇され ている	平等である	どちらかとい えば女性の 方が優遇され ている	女性の方が 非常に優遇 されている	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
④ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念、 慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体	1	2	3	4	5	6

2 家庭生活について

問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたは
どう思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかという賛成 |
| 3 どちらかという反対 | 4 反対 |
| 5 わからない | |

問3 あなたは、次のような家庭内の仕事を、主に誰が受けもつのが理想だと思いますか。
(①～⑥についてそれぞれ○を1つ)

<理想>	すべて 女性	主に 女性	男女で 協力	主に 男性	すべて 男性	わから ない
① 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
② 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6
③ 掃除	1	2	3	4	5	6
④ 洗濯	1	2	3	4	5	6

⑤ 育児・しつけ	1	2	3	4	5	6
⑥ 看護・介護	1	2	3	4	5	6

問4 あなたの家庭では、次のような家庭内の仕事を、現実には主に誰が受けもっていますか。（①～⑥についてそれぞれ○を1つ）

<現実>	すべて女性	主に女性	男女で協力	主に男性	すべて男性	該当しない
① 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
② 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6
③ 掃除	1	2	3	4	5	6
④ 洗濯	1	2	3	4	5	6
⑤ 育児・しつけ	1	2	3	4	5	6
⑥ 看護・介護	1	2	3	4	5	6

3 女性の職業生活について

問5、問6は現在結婚している方（事実婚を含む）におたずねします。
それ以外の方は問7へ。

問5 あなたは、女性が職業に就いたり、職業生活を続けたりする上で、障壁となっているものは何だと思いますか。（○は2つまで）

- 1 家庭内の問題（家族の協力や理解、育児や介護など）
- 2 支援制度の問題（子育て・介護家庭支援、再就職支援など）
- 3 職場の労働条件の問題（賃金、労働時間、休暇制度など）
- 4 職場の人間関係の問題（上司や同僚の無理解、セクシュアルハラスメントなど）
- 5 女性自らの職業意識や職業能力の問題（責任ある仕事への不安、仕事への取り組み姿勢など）
- 6 その他（具体的に： _____）
- 7 問題はない

問6 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性リーダーの登用が進んでいない理由は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと
- 2 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
- 3 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
- 4 ロールモデルが少ないため、女性が自身のキャリアを思い描くことが難しいこと
- 5 長時間労働の改善が十分ではないこと
- 6 企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること
- 7 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと
- 8 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
- 9 その他（具体的に： _____）
- 10 特にない
- 11 わからない

4 ワーク・ライフ・バランスについて

問7 あなたは、男女が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
- 2 介護支援サービスの充実
- 3 家事・育児支援サービスの充実
- 4 家事・育児・介護などを担うことへの男性自身の意識改革
- 5 男性が家事・育児・介護などを担うことへの周囲の理解・意識改革
- 6 働き続けることへの女性自身の意識改革
- 7 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
- 8 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
- 9 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
- 10 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- 11 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
- 12 その他（具体的に： _____）
- 13 特にない
- 14 わからない

問8 あなたは、これまでに自己都合で離職もしくは転職をしたことがありますか。
(○は1つ)

1 ある

2 ない

▶ **問8で、「1」と回答した方におたずねします。**

問8-1 離職・転職をした理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 経営方針の相違 | 2 職場の人間関係の不和 |
| 3 給与や昇進への不満 | 4 雇用形態や労働環境への不満 |
| 5 他にやりたいこと・職業があった | 6 結婚 |
| 7 出産・育児 | 8 介護 |
| 9 早期・希望退職優遇制度による | 10 体調不良 |
| 11 職種が自分に向いていなかった | 12 契約期間満了 |
| 13 その他(具体的に： |) |

問9、問10は、仕事に就いている方におたずねします。それ以外の方は問15へ。

問9 あなたは、暮らしの中での「仕事」、「家庭」、「地域・個人(付き合い、学習・趣味など)」の生活で何を優先しますか。(A、Bについてそれぞれ○を1つ)

A 希望として

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域・個人の生活」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい

B 現実として

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している

問10

“ワーク・ライフ・バランス”とは、仕事や家庭生活、地域・個人の生活が自分の希望に合い調和していることを言います。あなたの生活は、ワーク・ライフ・バランスがうまくとれていると思いますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

5 地域活動について

問11

最近5年間に、あなたは、次のような地域活動に参加したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 趣味・教養文化講座への参加 | 2 女性団体・グループの活動 |
| 3 子ども会、PTAなどの青少年育成活動 | 4 消費者団体、生活協同組合などの活動 |
| 5 福祉ボランティアやNPOなどの活動 | 6 健康づくりや介護予防の活動 |
| 7 安全なまちづくりや防災などの市民活動 | 8 区・町内会・自治会の活動 |
| 9 スポーツ・レクリエーション活動 | 10 環境に関わる活動 |
| 11 いずれの活動にも参加しなかった | |

問12

災害時の避難所運営について、男女共同参画の視点からあなたはどのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 避難所の運営、運営方針の決定などにおいて、女性と男性がともに参加すること
- 2 男女別トイレや洗濯干場、授乳室の設置など、避難者のニーズに配慮すること
- 3 生理用品や育児・介護用品などがスムーズに配布されるように体制を整えること
- 4 女性は炊き出し、男性は力仕事といった固定的な性別役割分担意識を解消すること
- 5 女性及び男性が抱えた悩みや避難所生活上の問題を受け付ける窓口を設置すること
- 6 性暴力等の被害を発生させないための取り組み及び被害者へのケア体制を充実すること
- 7 その他（具体的に： _____ ）
- 8 わからない

6 子どもの教育について

問13 子どもにはどこまで進学することを期待しますか。子どもがいる、いないにかかわらず回答してください。（それぞれ○を1つ）

女の子の場合（○は1つ）

- 1 中学校まで
- 2 高等学校まで
- 3 専門学校・各種学校まで
- 4 短期大学・高等専門学校まで
- 5 大学まで
- 6 大学院まで
- 7 その他(具体的に:)

男子の場合（○は1つ）

- 1 中学校まで
- 2 高等学校まで
- 3 専門学校・各種学校まで
- 4 短期大学・高等専門学校まで
- 5 大学まで
- 6 大学院まで
- 7 その他(具体的に:)

問14 教育現場における男女共同参画の推進について考えていく場合、どうしたらよいと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 出席簿・座席・名簿・色分けなど、男女を分けないようにする
- 2 学校生活での役割分担について、性別に関わらず児童・生徒個人の希望や能力を重視する
- 3 進路指導や職業教育において、性別に関わらず児童・生徒個人の希望や能力を重視する
- 4 日頃の学習の中で、人権や男女平等意識を育てていく
- 5 子どもの発達段階をふまえた性教育を行う
- 6 性教育を通じて、互いに相手を思いやる気持ちを持つことができるようにする
- 7 教員や職員に人権や男女共同参画意識啓発の研修を実施する
- 8 教材の登場人物・役割など、男女平等の観点から教材を見直す
- 9 女性管理職（校長や副校長）を増やす
- 10 P T Aなどを通じ、保護者等地域の大人が人権や男女平等教育の理解と協力を深める
- 11 「男らしさ」や「女らしさ」を強調しないようにする
- 12 その他（具体的に： _____）
- 13 わからない

7 人権の尊重について

問15 あなたは、夫婦や恋人との間で、次のような行為があったとき、それを暴力だと思いますか。（①～⑩についてそれぞれ○を1つ）

	どんな場合でも 暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、 そうでない場合もあると思う	暴力にあたると思わない
① 平手で打つ	1	2	3
② 足でける	1	2	3
③ 殴るふりをしておどす	1	2	3
④ 大声でどなる	1	2	3
⑤ 他の異性との会話を許さない	1	2	3
⑥ 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3
⑦ 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
⑧ 家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3
⑨ 嫌がっているのに、性的な行為を強要する	1	2	3
⑩ 避妊に協力しない	1	2	3

問16 最近5年間に、あなたは恋人や配偶者から、身体的・精神的・性的・経済的な暴力を受けたことがありますか。（○は1つ）

1 何度もあった 2 一、二度あった 3 まったくない

▶問16で、「1」または「2」と回答した方におたずねします。

問16-1 それはどのような暴力ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 命の危険を感じるくらいの身体的暴力 | 2 治療を必要とするくらいの身体的暴力 |
| 3 治療を必要としないくらいの身体的暴力 | 4 精神的暴力 |
| 5 性的暴力 | 6 経済的暴力 |
| 7 その他（具体的に： | ） |

問17 あなたは、DVについて相談できる窓口について、どのようなところを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 春日井市DV相談
- 2 愛知県女性相談支援センター
- 3 警察
- 4 民間の団体や機関（民間シェルター、弁護士会、医療機関など）
- 5 法務局、人権擁護委員、法テラス
- 6 男性DV被害者ホットライン
- 7 その他（具体的に： _____）
- 8 知っているところはない

問18 あなたは今までに性的指向や性自認について悩んだことはありますか。（○は1つ）

- 1 はい
- 2 いいえ

問19 性的少数者（LGBTQ）の方々にとって、現在の社会は偏見や差別などがあり、生活しづらいと思いますか。（○は1つ）

- 1 思う
- 2 どちらかといえば思う
- 3 どちらかといえば思わない
- 4 思わない

→ **問19で、「1」または「2」と回答した方におたずねします。**

問19-1 それはどのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 いじめ（悪口、嫌がらせなど）や差別を受けるから
- 2 自らが認識する性とは異なる性のふるまい（服装、言葉遣いなど）を強要されるから
- 3 性別で区分された設備（トイレなど）を使いづらいから
- 4 書類等で性別の記入を強要されるから
- 5 家族や友人等に相談しづらい状況にあるから
- 6 就職、仕事、待遇等で不利・不当な扱いを受けるから
- 7 病院や福祉施設等で適切な看護や介護が受けられないから
- 8 住宅を借りることが難しい場合があるから
- 9 スポーツ・文化活動や地域活動に参加しづらいから
- 10 病院で同性パートナーとの関係が認められず、病状を教えてもらえないから
- 11 法整備が不十分であり、婚姻や相続などで不利益を受けるから
- 12 行政機関などの相談・支援体制が不十分であるから
- 13 その他（具体的に： _____）

あなたは、身近な人（家族、友人）から性的少数者（LGBTQ）であることを打ち明けられたらどう思いますか。（○は1つ）

家族の場合（○は1つ）

- 1 本人の生き方を積極的に応援したいと思う
- 2 今までどおり何も変わらない
- 3 やや抵抗を感じる
- 4 抵抗を感じる
- 5 その他（具体的に： ）

友人の場合（○は1つ）

- 1 本人の生き方を積極的に応援したいと思う
- 2 今までどおり何も変わらない
- 3 やや抵抗を感じる
- 4 抵抗を感じる
- 5 その他（具体的に： ）

8 市の男女共同参画の取り組みについて

問21

男女共同参画社会を形成していくため、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 男女共同参画に関する広報・啓発を推進する
- 2 社会教育などにおいて、男女平等・男女共同参画に関する教育・学習を推進する
- 3 学校教育において、男女平等の教育を推進する
- 4 女性のための各種相談を充実する
- 5 男性のための相談場所を設ける
- 6 政策・方針決定の場へ女性の参画を拡充する
- 7 母性保護の向上を促進し、母子保健を充実する
- 8 子育て支援の推進と保育サービスの充実を行う
- 9 仕事と家庭の両立のための職場における支援を促進する
- 10 女性に対する意識啓発や研修を実施する
- 11 男性に対する意識啓発や研修を実施する
- 12 職場における男女の均等な取り扱いについて、周知徹底を行う
- 13 女性のチャレンジ支援を推進する（起業、リーダー養成、地域活動等）
- 14 異性や子どもに対する暴力防止対策や被害者支援を推進する
- 15 防災や復興支援などにおいて、男女共同参画を推進する
- 16 その他（具体的に： _____）
- 17 特になし

問22

男女がともに参画できるまちづくりを進めることについて、ご意見・ご提案やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no text or other markings on the paper.

9 あなた（回答者）ご自身について

① 性別	1 男性 2 女性 3 その他、わからない、答えたくない
② 年齢 (令和7年4月1日現在)	1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代 5 50歳代 6 60歳代 7 70歳代 8 80歳代以上
③ 配偶者の有無 (事実婚を含む)	1 既婚 2 未婚 3 離別 4 死別
④ 職業	1 会社員 2 公務員 3 派遣・契約社員 4 パートタイム・アルバイト 5 自営業 6 農業 7 内職・在宅就業 8 専業主婦・専業主夫 9 学生 10 無職 11 その他（具体的に： ）
⑤ 配偶者の職業 (結婚されている方（事実婚を含む）におたずねします)	1 会社員 2 公務員 3 派遣・契約社員 4 パートタイム・アルバイト 5 自営業 6 農業 7 内職・在宅就業 8 専業主婦・専業主夫 9 学生 10 無職 11 その他（具体的に： ）
⑥ 子どもの有無	(同居していないお子さんを含む) 1 いる（ 人） 2 いない
(「1 いる」と答えた方) 問⑥-1 一番下の子どもの年齢	満（ 歳）
⑦ 同居家族の構成	1 夫婦（事実婚を含む）のみ 2 夫婦（事実婚を含む）と子ども 3 夫婦（事実婚を含む）と親 4 親・子・孫の三世代 5 母親または父親と子ども 6 単身 7 その他（具体的に： ）

長時間にわたりお疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。